

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

平成 23 年 10 月 31 日

派遣者氏名（専門分野）	渡部 玲子 （ イラン都市研究 ）
-------------	-------------------

派遣期間	平成 23 年 8 月 23 日 ～ 平成 23 年 9 月 2 日
------	------------------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
フランス	パリ	フランス国立図書館

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法等を記入）

フランス国立図書館（Bibliothèque national de France）

◇手続きと利用方法

まず館内に入館する際には、セキュリティーチェックが行われる。鞆の中が見えるようにしてチェックを受けてから入館する。研究者用の図書館 Rez-de-Jardin を利用する際には、申請書・在学証明書（英語）・指導教員の推薦書・パスポートが必要。これらをそろえて窓口で審査を受ける。その際写真をその場で取り、利用カードを作製してもらう。その後別の窓口で登録料を支払うことで、図書館の利用が可能になる。

Le site François-Mitterand

◇資料の請求・閲覧

資料はオンライン上の利用者ページから請求する。オンラインカタログから資料を選択し、利用者ページで手続きを行う。資料にもよるが、資料がカウンターに届くまで 30 分から 1 時間程度かかる。オンライン上の利用者ページから資料が届いたことを確認し、届いたら利用者カードを持ってカウンターで受け取る。即日閲覧ができない資料の場合、別途カウンターで手続きを行うことができる。数日で閲覧の可否の回答があるため、後日指定されたカウンターまで書類を持って問い合わせる。

◇複写

コピー室は 10 時から 18 時まで利用可能。コピーをするには専用のコピーカードが必要である。このコピーカードはコピー室の自動販売機で 2 ユーロで購入できるので、枚数にしたがってチャージする。コピー希望箇所を職員に伝える際にはコピー可能枚数に注意が必要。領収書は、職員に伝えると発行してもらうことが可能である。コピーが不可能な資料等は写真撮影を行うことができるものもある。その場合、撮影は司書の指定する場所で行う。なお撮影可能枚数には制限がある。撮影可能かどうかなどの不明な点は司書に確認すること。マイクロフィルムの複写はマイクロフィルムの閲覧室で行う。

◇マイクロフィルムの利用方法

マイクロフィルムはの閲覧室は中 2 階にある。閲覧機はオンライン上の利用者ページから確認が可能で、閲覧室の司書に問い合わせることで確認できる。複写は専用のスペースでのみ可能。

◇インターネット

BnF の備え付けのパソコンからもオンラインカタログ他インターネットが使用可能である。向かい合う 2 つの机につき 1 つのインターネットケーブルがあるので、個人のパソコンからインターネットに接続することもできる。その際の ID とパスワードは、ID が利用者カードに記載されている 7 桁の数字で、パスワードが利用者の誕生日（DD/MM/YYYY）である。スラッシュもパスワードとして含まれており、全部で 10 桁の数字・記号が

パスワードとなっていることに注意が必要。

Le site Richelieu-Louvois(Cartes et plans の場合)

◇利用方法

本館（Le site François-Mitterrand）で手続きが済んでいる場合、こちらで特別に手続きをする必要はない。本館同様、入口でセキュリティーチェックを受けてから入館する。入室する際には、扉のそばにあるベルを鳴らして職員にロックを解除してもらってから入室する。職員から利用者カードと引き換えにロッカーの鍵を受けとり、荷物をロッカーに預けてから入室する。資料の閲覧は、貸出カードに記入し窓口提出することで手続きを行う。資料の写真撮影は、資料ごとに専用のカードに撮影枚数を含めて記入し、司書のサインをもらってから行う。マイクロフィルムの写真撮影も同様である。また、マイクロフィルムのコピーはコピーカードを使って利用者が行うが、この場合は特別な手続きは必要ない。資料を翌開館日まで取り置いてもらう場合は、専用の申し込みカードに記入し司書にサインをしてもらう。